



アメリカ



シカゴ

留学しているオークパーク・アンド・リバーフォレスト高校



「ずっと憧れだった アメリカ高校留学」

留学がしたいという強い気持ち

私はロータリークラブの「青少年交換留学プログラム」によって、今年の夏から約1年間の予定でアメリカへ派遣していただいています。ロータリークラブとは世界的奉仕団体で、世界各国にある33,000ものロータリークラブが連携し、お互いの地域へ留学生を親善大使として送り合うのがこのプログラムです。

私がなぜ留学をしたと思ったのか。それは日本人の父とマレーシアの華僑である母のもとに生まれたこと、そして父の仕事の関係で台湾に二年半住んでいた経験が大きいです。幼い頃から様々な国の人と関わり、異文化を体験することが多かった私は、自分と違うバックグラウンドを持つ人と関わることは楽しいことだと知っていました。しかし年齢を重ねるにつれて、もっといろんなことに挑戦したい!体験したい!いろんな人と関わりたい!そのためには留学がしたい!と思うようになりました。

“いつか”はどこかで決心しなければ

「留学がしたい」そう強く願っていたある日、朝礼で担任の先生がロータリー留学の告知をされました。ロータリー留学をするためには、いくつかの面接があるとと言われていましたが、「やるしかない!」と思いました。「いつかやりたい」の“いつか”は、どこかで決心しないと一生来ないことに気づいたからです。だから、思い切って応募をしたというのがきっかけです。まさか、応募したあの日から一年後、本当にアメリカにいるなんて、誰も想像しなかったことだと思います。



▲ 同じ地区のロータリークラブ留学生と(中央が高林さん)

アメリカでの高校生活

アメリカに来て2ヶ月が経ちました!当たり前ですが、アメリカの生活は日本の生活と全く違います。家の中に靴で入ったり、各家の前には当たり前のように芝生があったり、覚悟はしていましたがお米を全く食べなかったり。また、アメリカの学校では先生がクラスを移動するのではなく、生徒が移動するシステムだったり、学校中を警備員が歩き回っていたり、授業中に飲食と携帯電話を使用することが大丈夫だったり…。中でも私が一番びっくりしたのは、アメリカの高校には文化祭や体育祭がないということでした。代わりに「ホームカミング」というダンスパーティーがあります。ひたすら踊るパーティーです。私も参加してきましたが、「ここは高校?!」と思うくらい迫力のあるダンスパーティーでした。

休日はホストファミリーと出かけたり、他の国からの留学生とロータリークラブのプログラムに参加したりしています!



▲ ホームカミングパーティ(左から2人目が高林さん)

世界は広い!



この記事を読んでくださっている方に一番伝えたいことは、「留学は素晴らしい!」ということです。ありきたりな言葉に聞こえますが、本当にそうなんです。自分が知らなかった世界を体験することができる。見ることができる。世界は自分が思っているより広いと実感することができます!

ぜひ、みなさんにもこのうれしさを体験していただきたいです!

財団で

「ボランティア」[☆]しています!

鳥取県国際交流財団では、専門通訳ボランティア制度を設けています。このコーナーでは、ご登録いただいているボランティアの方に日ごろのご活動等について紹介していただきます。

たなかりようこ

第3回目は、「専門通訳」にご登録の田中涼子さんです。

専門通訳ボランティアは、財団主催の講座を受講していただくことが前提となります。活動内容は大きく分けて「医療」と「コミュニティ」の2種類があります。

◆専門通訳ボランティアへ登録しようと思ったきっかけは?

習った中国語を生かして、何かやってみたいと思ったことです。

最初は、仕事で普段使う以外の分野に接することが自分にとってプラスになると考えたからで、その上「誰かの役に立てるなら一石二鳥だな」というぐらいの気持ちでした。恥ずかしながら、決して高い志から始めた訳ではありません。



▲ 田中さん

◆活動の中で心に残ったこと、嬉しかったこと



リハビリの現場で患者さんと療法士さんの通訳をしたことです。担当の療法士さんから患者さんに「横になる」「左、右を向く」「足を上げる」など姿勢や動作に関する指示が出て状態を確認されるので、それを訳すことが私の役目でした。

通訳時の原則に“メモ取り”があります。もちろん私も普段は必ずしますが、この時は始まるとすぐに、会話の単語が短い上、テンポよく変化する2人の動きを目で追いながら訳しつつ、かつメモするのがとても難しいことに気がきました。そこでこの時だけはメモをやめ、二人の会話と動きに集中することにしました。終了後、療法士さんから「今日はとてもスムーズに出来ました。」と感謝の言葉を頂き、患者さんも満足して帰られたのでとても嬉しかったのを覚えています。基本であるメモ取りは怠りましたが、双方が一番いい状態でコミュニケーションを取れたことが患者さんのリハビリにとって、結果として良かったのだと思います。現場での経験が大事だと再認識した出来事の一つでした。

◆ボランティアに関心がある方々へのメッセージ

全てのボランティアは、それぞれが得意なことを無理のない範囲で、長く続けていくことが大事だと思います。

私にとってそれが通訳ボランティアでした。便利なアプリや自動翻訳機が開発されていますが、人間との決定的な違いは、相手が内容を理解できたかどうかを、相手に尋ねたり表情を見るこ

とで確認できない点だと思っています。日本語の会話であっても、ずれたまま進むと誤解の元になり、解消するのに余計な時間がかかってしまいますよね。私たちが細やかに会話を繋ぐお手伝いをする事で、皆さんにこうした言葉のストレスを感じることなく過ごしてもらえよう、一緒に楽しんで頑張っていきましょう。



今年2月に開催された「専門通訳ボランティアフォローアップ研修会」にも参加して通訳練習しました。



JICAデスクより

着任あいさつ

こんにちは。再びご縁があり国際協力推進員として着任しました、森木由加里と申します。フィリピンでの青年海外協力隊から帰国後数年が経過しましたが、協力隊の活動は私にとって初めての海外経験でもあり国際協力の原点です。また、自然災害の多い日本の暮らしの中で、災害ボランティアにも参加しましたが、現場で声を掛け合いながらニーズを把握し、現地の

方々に寄り添いながら共に取り組む様子は、協力隊活動に重なるものがありました。互いに協力し助け合い、今だからこそ「つながる」ことの大切さやつながりの豊かさを感じています。

鳥取でみなさんと一緒につながり地元に貢献し、国際協力に取り組んでいきたいと思しますので、どうぞ宜しくお願い致します。



鳥取県国際協力推進員 森木 由加里

お問い合わせ

鳥取県JICAデスク

〒680-0846

鳥取市扇町21 鳥取県立生涯学習センター(県民ふれあい会館)3階
TEL:0857-51-1165 FAX:0857-51-1175

URL:<http://www.torisakyu.or.jp>

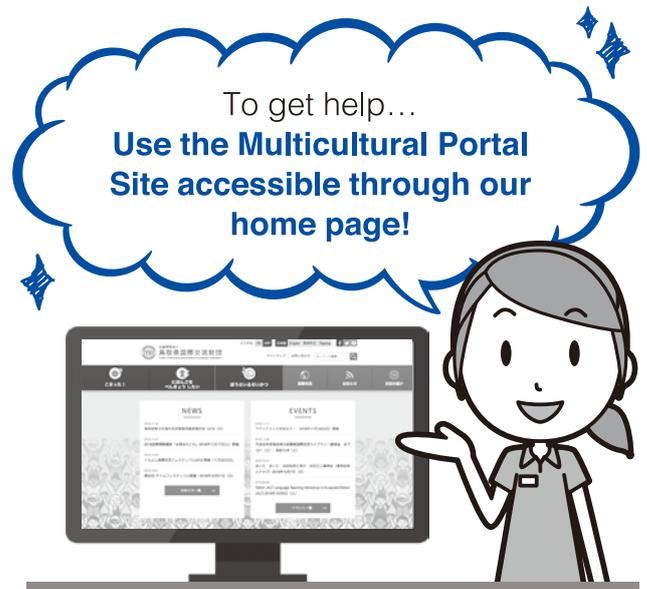
Eメール:jicadpd-desk-tottoriken@jica.go.jp

facebook:<https://www.facebook.com/jica.tottori/>

\\ Check out the new TPIEF website. //

The Multicultural Network Portal is here!

Consultation & info page in 11 languages



◆ What is a multicultural portal site?

In cooperation with the Multicultural Symbiosis Network board*, the TPIEF web site now offers a system for the distribution of information in multiple languages, called the Multicultural Portal. This system offers a chance to overcome the language barrier using an easy consultation form for particular problems, in addition to essential emergency information and useful information for daily life.

* This association was set up within TPIEF in 2016 to provide Tottori's foreign residents with essential information and useful projects implemented from an international viewpoint.

Service in 11 languages!

In addition to Japanese, we offer help in **English, Chinese (traditional and simplified), Portuguese, Spanish, Korean, Tagalog, Indonesian, Vietnamese, Russian, Thai, and French.**



◆ How to Use the Multi-language Consultation Form

- (1) Access the TPIEF web site from your computer or smartphone and select "English" from the choice of languages at the top.
- (2) Click the tab marked "Oh, no!" at the top of the page to open the Multilingual Consultation Form. Read the instructions and fill in the form according to your needs. (If using a smartphone, link from the menu at the top right, or scroll up to see the menu.)

【URL】<http://www.torisakyu.or.jp/en/>

\\ Screen seen on smartphone devices will differ from the screenshot shown. //

【URL】<http://www.torisakyu.or.jp/en/consult/>



Take Note:

- The consultation form is for use only by those living, working, or going to school within Tottori Prefecture.
- It will take us some time to reply to your request (allow approximately one week). Please be advised that we are unable to respond to requests for immediate consultations.

\\ 财团的网页 已全面更新喽!! \\

「多样文化共生入口网站」开设!

~提供11种语言的咨询及情报网页~



◆何谓多样文化共生入口网站?

财团官方网页开设了由多样文化共生联络网会议委员们协作的一多语言情报发信系统「多样文化共生入口网站」。除了提供灾害情报等的「重要通知」外、同时提供对日常生活有帮助的「生活安心情报」,还设置了可咨询烦恼等的「多言语!咨询栏目」,以尽可能的降低语言障碍,便于大家更简单地使用。

※国际交流财团于平成28年度成立了以外国居民为成员的「多样文化共生联络网会议」。此会议是站在外国居民的角度,为外国出身人士实现他们认为“必要生活”的事业。

有11种语言可对应!

除了日文以外,可用英语、中文(简体字、繁体字)、葡萄牙语、西班牙语、韩文、他加禄语、印尼语、俄语、越语、泰语及法语来回答问题。



◆「多言语! 咨询专栏」的使用方法

(1) 使用电脑或智能型手机打开「鸟取县国际交流财团」的官方网页。

【URL】<http://www.torisakyu.or.jp/zh-hans/>

\\ 若使用智能型手机,画面将有些许不同。/



(2) 从首页的「怎么办!」的画面点进「多言语!咨询栏目」。

下一个画面会出现「这是专为居住在鸟取县的外国人士而设置的多言语!咨询栏目」。若要咨询请详读注意事项后并往下拉至实际输入咨询内容画面的「咨询栏目」。若使用智能型手机,请点选首页画面右上方的(☰)、或往下滑动来显示。

【URL】<http://www.torisakyu.or.jp/zh-hans/consult/>

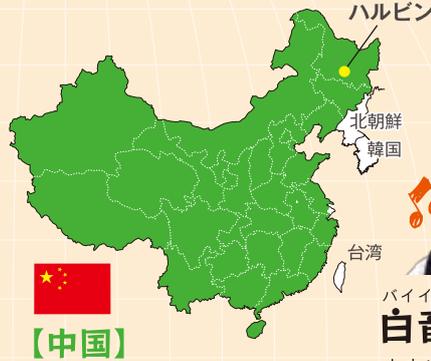


! 请注意!

- 「多言语! 咨询栏目」是针对居住在鸟取县内,在县内工作或上学的人士的咨询专栏。
- 回复咨询需要一周左右时间。恕不接受紧急咨询业务。请见谅!



財団職員の 「ここが違って おもしろい!!」



バイイン バトロ
白音 巴特尔 (中国出身)
カウンター業務(土、日)

私の故郷であるハルビンは、中国東北部の黒龍江省の中心です。ハルビンで一番有名なのは冬の氷祭りで、中国語では「冰雪大世界」といいます。

1999年に新世紀を迎えるにあたり「冰雪大世界」が建設されると、毎年12月から2月まで開催されています。入場料は約3,000円で、さまざまな美しい彫刻が展示してあります。彫刻は、鳥取砂丘の「砂の美術館」と同じように全て地元の原材料を使用して作られま

す。鳥取と違うのは、材料が“氷”であるという点です。冬の寒い時期、松花江には厚い氷層ができますので、その天然の氷を切り出して彫刻を作ります。今では「冰雪大世界」は世界最大で、作品は約2,000点にのぼり、毎年、たくさんの観光客が訪れます。

「冰雪大世界」に旅行したくなりましたか？
冬のハルビンは建物の中は暖かいですが、外はかなり寒く、冬はマイナス35℃ぐらいにもなります。ハルビンへ行かれるときには、完璧な防寒対策をしてください。



今回の料理は、 ウガンダの チャパティ



焼きあがったチャパティは、乾燥しないようにラップをかけてください。そのままでも、薄焼き卵やトマトと一緒に食べても美味しいです!



材料(4人前)

- ・ピーマン……………1個
- ・玉ねぎ……………1個
- ・小麦粉……………750g
- ・塩……………大さじ2
- ・サラダ油……………大さじ2
- ・ぬるま湯……………60ml

■作り方

- ①ボールに、小麦粉、みじん切りにしたピーマンと玉葱、塩を入れ、ぬるま湯を少しずつ加えながら木べらで混ぜ、ある程度まとまったら手で力強くこねる。
※小麦粉は少し残しておき、水気が多かったら小麦粉を加える
- ②粉っぽさがなくなってきたら、生地の中真ん中にぼみをつけ、そこに油を加えてさらにこねる。耳たぶくらいの柔らかさになったら生地を丸めて、生地を油(分量外)で

コーティングした後、ラップで覆い、15分寝かせる。

- ③再度軽くこねてテニスボールほどの大きさにちぎる。それを直系20cmくらいの大きさに麺棒で丸く伸ばし、フライパン(中火)で焼く。
- ④焼き色がついたらひっくり返して適宜油を足しながら両面に焦げ目がついたらフライパンから取り出す。

本所

Head Office / 本所

〒680-0846
鳥取市扇町21番地 県民ふれあい会館3階
TEL.(0857)51-1165 FAX.(0857)51-1175
E-mail / tic@torisakyu.or.jp

■利用時間

平日 9:00~18:00 土・日 9:00~17:30
祝日・年末年始はお休みです



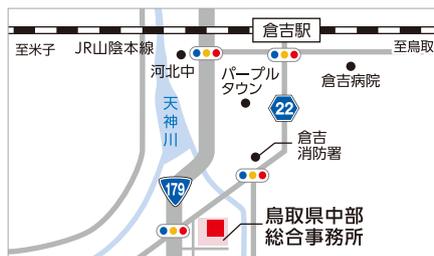
倉吉事務所

Kurayoshi Office / 倉吉事務所

〒682-0802
倉吉市東巖城町2 鳥取県中部総合事務所別館
TEL.(0858)23-5931 FAX.(0858)23-5932
E-mail / tick@torisakyu.or.jp

■利用時間

平日 8:30~17:15 土日・祝日・年末年始はお休みです
※臨時に閉所する場合は、HPで随時お知らせします。



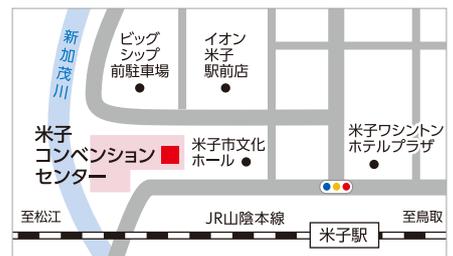
米子事務所

Yonago Office / 米子事務所

〒683-0043
米子市末広町294 米子コンベンションセンター1F
TEL.(0859)34-5931 FAX.(0859)34-5955
E-mail / ticy@torisakyu.or.jp

■利用時間

平日・日 9:00~17:30
土・祝日・年末年始はお休みです



配信中! 登録無料!

- 国際交流イベント情報メールマガジン「☆TIM☆」(日本語) **鳥取発!**
- 携帯版多言語メールマガジン「TORIMO」(英語、中国語、タガログ語)



公益財団法人 鳥取県国際交流財団
<http://www.torisakyu.or.jp>

